

七滝中央小学校の6年生を対象に九州横断自動車道延岡線（嘉島～山都）の現場見学会を開催しました。

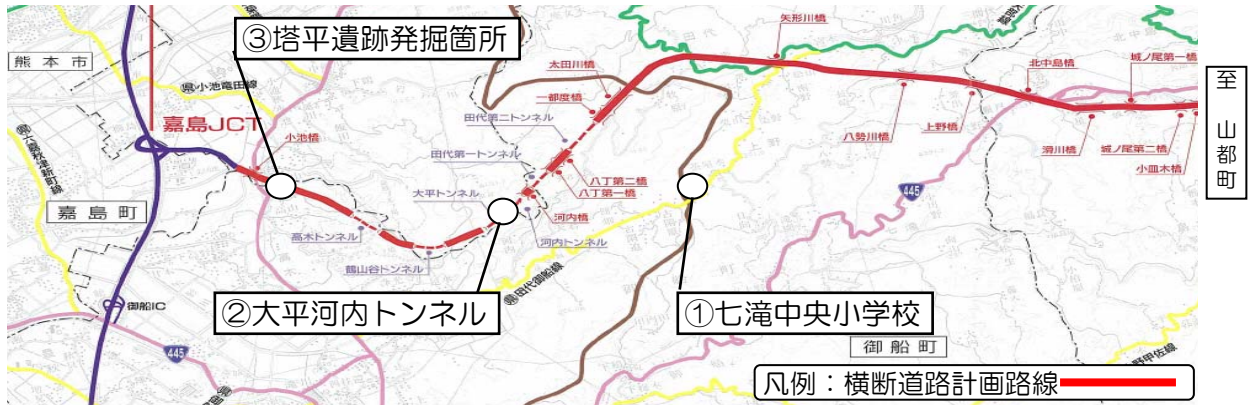
1. 概要

国土交通省熊本河川国道事務所では、11月26日（木）に七滝中央小学校6年生を対象に現在建設中の九州横断自動車道延岡線（嘉島～山都）の現場見学会を開催しました。

この見学会は、「土木の日」の行事の一環として、子どもたちに橋やトンネルなどモノを作る喜びを伝えることにより土木に関心を抱いてもらおうと行ったものです。また、道路の果たす役割や将来、自分たちの住む地域がどのように変わるのかを一緒に考え、子供達に道路への親しみを持ってもらうことも目的としています。

子供達は現場へ移動するバスの中で道について学び、1つ目の現場、大平・河内トンネルで、トンネルの作り方を学んだ後、懐中電灯を照らしながら、トンネル内を歩きました。

2つ目の現場は横断道路建設に伴い県文化課が調査中の塔平遺跡。「昔へタイムスリップ！～ようこそ塔平遺跡へ～」というテーマで発掘調査について学び、本物の遺跡現場を見て、触れて、考えながら学習をしました。



2. 内容

9時

①七滝中央小学校発

9時20分～10時10分

②大平河内トンネル現場見学

10時30分～11時30分

③塔平遺跡見学

12時

七滝中央小学校着

この見学会の状況は夕方のテレビニュースで放映され、新聞にも掲載されました。

トンネルでダイナマイトをつかうのか～！今度は他のトンネルについても調べてみたいな！

工事中のトンネルを歩くのは初めて♪大きさにびっくり (>_<)

3. 行事の開催状況



挨拶の後、今日の予定を説明



まずはトンネルの作り方を勉強



懐中電灯を持ってトンネル内へ



県の文化課から塔平遺跡について勉強



特別に遺物を触らせてもらいました



発掘作業を見学 みんな興味津々！